



Rainbow Net

れいんぼーTopics

『宮古圏域障がい者スポーツ交流会開催!』



スカットボール優勝「岩泉町デイケアコスモス会」



ソフトバレー優勝「宮古山口病院デイケア」



卓球バレー優勝「宮古市身体障害者福祉会」

令和元年5月17日「宮古圏域障がい者スポーツ交流会」が開催されました。この企画は平成20年から開催し今年で11回目となります。今年も宮古圏域内の多くの障がい福祉事業所のみなさんに参加いただきました。ソフトバレー、卓球バレー、スカットボールの3種目の競技を中心に交流することができました。その他にも、さまざまなアトラクションを設け競技に参加できなかった方々も楽しく参加していました。

また、今年も多くのボランティアスタッフや関係者のみなさんに協力いただき、事故もなく無事に「宮古圏域障がい者スポーツ交流会」を終えることができました。ご協力ありがとうございました。各種競技で優勝した事業所のみなさんの健闘を称え、写真を掲載させていただきます。優勝おめでとうございます。(文責：高屋敷)

目次 CONTENTS

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ●れいんぼーTopics 1 | ●こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です! 8~9 |
| ●新年度にあたって 2 | ●令和元年度事業計画・予算 10 |
| ●平成30年度事業報告・決算、新任職員紹介 3~5 | ●Essay「虹の架け橋」 11 |
| ●Report!「福祉の現場から」 6~7 | ●なんでもKEIJIBAN、編集後記 12 |

新年度にあたって 新元号「令和」とともに

宮古圏域障がい者福祉推進ネット

事務局長 盛合 一男



「平成」の時代が終わり、新元号「令和」のもと新たな時代が幕を開けました。

「令和」には、「一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる」という願いが込められているそうです。この新しい元号に込められた理想と願いを共有し、誰もが明日への希望を持って暮らすことができる平和な時代となるよう、皆様と共に歩んでいければと考えております。

レインボーネットは、昨年度、法人設立10周年の年を迎え記念事業を実施しましたが、新たな時代に向けスタートを切っており、これまでの成果を踏まえ、新元号と



ともに、圏域4市町村を支援・補完する団体として、障がい者福祉の向上のため更なる努力をしてまいります。

さて、当事業所における今年度の職員体制ですが、相談業務の要であった事務局次長（兼相談支援専門員）が異動になり、さらに相談支援専門員（2名）が一身上の都合により退職したことから、相談支援事業の存続が危ぶまれましたが、経験豊富な専門職員（2名）を新たに採用するとともに、関係団体のご協力もあり何とか体制の確保ができたところです。このことから、新たな担当への引継ぎもよりスムーズに行なうことができ、当事者を始めご家族及び関係者の皆

様方にご迷惑をかけないよう最大限の配慮ができたものと考えております。

事務事業につきましては、概ね順調に実施することができており、運営状況につきましても、圏域内事業所の新規事業の開始や報酬改定の影響等もあり相談支援事業収益が大幅増となったところです。法人運営としては喜ぶべきことではありますが、反面、モニタリング実施期間の見直し等により、相談支援専門員への負担がますます増えてきているのが現状であり、相談支援専門員の養成が喫緊の課題となっております。

今年度の事業計画につきましては、重点項目として、①地域の相談支援事業所間の連携・強化、②障がい者の権利擁護の推進及び普及啓発、③障がい者の地域移行の推進、④市町村のニーズに対応した取り組みの推進、⑤地域生活支援拠点整備の推進の5項目を掲げております。

特にも、項目⑤につきましては、今年度新たに重点項目に加えたもので、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障が

い者の生活を地域全体で支える体制を構築しようとするものです。全国的にも整備が遅れていることから、第5期障がい福祉計画に継続して整備を行うこととされており、宮古圏域におきましては、計画期間中（平成32年度末まで）に圏域として一ヶ所整備することとしており、レインボーネットといたしまして、自立支援協議会と連携して取り組んでまいります。

今年度におきましても職員一同気持ちも新たに、皆様方の信頼や期待に応えられるよう、これまで以上に公益性や中立性を意識しながら事業を実施してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年度 事業報告・決算

Ⅰ 法人運営の関係

■ 会員総数 139人（団体）

◇ 正会員 96人（団体）

◇ 個人会員 67人・団体会員 29団体

◇ 賛助会員 43人（団体）

◇ 個人会員 36人・団体会員 7団体

■ 総会・理事会・運営委員会の開催及び会計監査の実施

◇ 総会（1回開催）

◇ 理事会（2回開催）

◇ 運営委員会（2回開催）

◇ 会計監査（4回実施）

■ 広報・啓発活動の実施

◇ 機関紙「Rainbow Net」の発行（2回／第26号・第27号）

◇ ホームページによる情報提供

◇ 出前授業の実施（理解促進及び啓発事業）

・ 宮古市立津軽石中学校（123名）

5月1日「障がい」についてみんなで考える

・ 宮古市立山口小学校（42名）

7月23日 色々な障がいの理解

・ 宮古市立鎌ヶ崎小学校（20名）

9月26日 色々な障がいの理解

Ⅱ 事業の実施状況

■ 宮古圏域障がい者自立支援協議会の運営（宮古圏域4市町村からの受託事業）

◇ 宮古圏域障がい者自立支援協議会（親会）（2回開催）

◇ 専門部会の開催

・ 実務担当者会議（8回開催）

・ 生活支援部会（6回開催）

・ 権利擁護部会（6回開催）

・ 精神保健部会（6回開催）

・ 発達支援部会（6回開催）

■ 宮古地区地域生活支援事業等の実施（宮古圏域4市町村からの受託事業）

◇ 相談支援事業及び基幹相談支援センター事業

・ 年間の相談支援延べ件数12,981件
（※前年度12,592件）

・ 宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議の開催（3回開催）

◇ 住宅入居等支援事業

・ 相談支援実人員11人（相談延べ件数32件）

◇ 障害者虐待防止センター事業

・ 障がい者虐待防止研修会の実施
8月28日 救護施設松山荘 参加者17名

◇ 地域活動支援センター型事業

・ 年間の延べ利用者数2,647人
（※前年度2,799人）

◇ 活動開催回数338回

・ 「地活だより」を毎月130部発行
（※前年度330回）

■ サービス等利用計画の作成業務

◇ 計画作成（契約）件数580件

◇ モニタリング回数1,235回

■ 障害支援区分認定調査の実施（県内各市町村からの受託事業）

◇ 宮古圏域92件 ◇ 宮古圏域外1件

■ 岩手県地域生活支援広域調整会議等事業の実施（岩手県からの受託事業）

◇ 地域委員会（6回開催）

◇ 精神科病院等からの地域移行者6名

受託事業

ピックアップ

PICKUP!

平成30年度の各部会の取り組みについて

平成30年度宮古圏域チャレンジドフォーラム実施報告（生活支援部会主催）

「障がい者就労について考える」と題し、岩手県立大学社会福祉学部教授小澤昭彦氏を講師に迎え、宮古圏域内の企業3社の協力を得ながら、宮古圏域チャレンジドフォーラムを開催しました。障がい者が一般企業で働くことは特別なことではなく当たり前のことであり、特に圏域の企業を代表して登壇して下さった3社の方々から、障がい者雇用の推進に向けて力強いメッセージいただくことができました。障害者を雇用して頂くようお願いする立場である福祉側の意識改革の必要性を再認識する貴重な機会となりました。（文責：小林）



平成30年度宮古圏域権利擁護セミナー実施報告（権利擁護部会主催）

宮古圏域権利擁護セミナーは、昨年ご好評



を頂いた寸劇の第2弾として、「劇で知る身近な制度」～「障がい」も「高齢」も心配ないさ！～と題し、寸劇による問題事例の紹介と弁護士・専門職による解説を行いました。86名の方々にご参加いただき、「楽しみながら学ぶことができました」「劇を通しての方が制度を理解できます」等、たくさんのご意見を頂くことができました。今後も権利擁護に関する制度や法律を身近に感じられるように、広く伝えていきたいと思えます。（文責：八重樫）

平成30年度宮古圏域地域生活支援セミナー実施報告 （精神保健部会主催）

第10回目を迎えた宮古圏域地域生活支援セミナーは、福島県被災地障害福祉サービス基盤整備事業統括山田優氏、NPO法人PASSネット理事長上田晴男氏を講師に迎え、「障害福祉の源流と現在」意思決定支援・権利擁護・地域移行まで」と題し、51名の参加者の



もと学びを共有することができました。ご参加いただいたみなさまからは「地域移行の現状と今後の展開について、また、障害者の意思決定支援について多くの示唆を受けた」と感想が寄せられました。今後も障がいのある方々の地域生活支援を活性化するようなセミナーを開催していきたいと思えます。（文責：高屋敷）

平成30年度宮古圏域発達支援セミナー実施報告（発達支援部会）

今年度は信州大学医学部附属病院子どもこころ診療部部長である本田秀夫氏を講師に迎え、「自閉スペクトラム（10人に1人が抱える『生きづらさ』の正体とその支援）」と題し講演をいただきました。151名の参加者のうち、福祉分野だけでなく教育・保育分野、当事者や家族の参加割合も多かったこと、圏域外からの参加があったことは関心の高さを感じさせました。「白鳥は白鳥のまま」「グレイは白にはならない」などのキーワードや事例を交えたわかりやすい解説が非常に好評をいただきました。今後の企画にもご期待ください。（文責：栗津）



【自主事業等の関係】

■高次脳機能障がい者支援事業

- ◇連絡会の開催（2回開催）
参加者45名
- ◇家族会の開催（3回開催）
参加者37名



■障がい当事者等に関わる懇談会等の実施

- ◇地域懇談会
 - ・山田町
6月7日 山田町勤労者体育センター
参加者53名
 - ・田野畑村
8月31日 アズビー学習センター
参加者33名
 - ・岩泉町
9月27日 岩泉町民会館 参加者61名
 - ・宮古市
11月11日 宮古市総合福祉センター
参加者49名

共通講演

「だれもが安心して暮らせる地域づくりについて考えてみよう」

講師 志村尚一氏
第2部 懇談会
（グループワーク）



※その他にもイベントや研修会等を行っております。詳しくはお問い合わせください。

【レインボーネット 平成30年度 決算報告】

●活動計算書

収益の部

科 目		金額 (円)
経常収益	受取会費	237,000
	受取寄附金	0
	受取助成金	13,000
	事業収益	84,474,050
	宮古地区地域生活支援事業等	57,300,000
	相談支援事業	26,579,350
	認定調査事業	444,700
	地域生活支援広域調整会議等事業	150,000
	行事会費収益	
	行事参加会費収益	375,000
	その他収益	166,738
	受取利息	98
	雑収益	166,640
	経常収益計①	85,265,788

費用の部

科 目		金額 (円)
経常費用	事業費	73,455,439
	人件費	25,343,997
	その他経費	48,111,442
	管理費	6,937,646
	人件費	2,572,560
	その他経費	4,341,087
	減価償却費	23,999
経常費用計②		80,393,085
当期経常増減額 ①－②＝③		4,872,703
固定資産除去損 ④		0
税引前当期正味財産増減額 ③－④＝⑤		4,872,703
法人税、住民税及び事業税 ⑥		889,700
当期正味財産増減額 ⑤－⑥＝⑦		3,983,003
前期繰越正味財産額 ⑧		10,984,438
次期繰越正味財産額 ⑦＋⑧		14,967,441

●貸借対照表

(単位：円)

【資産の部】	
流動資産	18,348,024
現金預金	12,769,254
未収金	5,266,727
前払費用	236,500
立替金	75,543
固定資産	3,696,212
什器備品	5
退職給付引当資産	3,696,207
資産の部合計	22,044,236

【負債の部】	
流動負債	3,380,588
未払金	2,230,520
預り金	260,368
未払法人税等	889,700
固定負債	3,696,207
負債の部合計	7,076,795
【正味財産の部】	
前期繰越正味財産額	10,984,438
当期正味財産増減額	3,983,003
正味財産合計	14,967,441
負債及び正味財産合計	22,044,236

新任職員紹介

よろしくお願いします！



澤田 勝

2年ぶりに相談業務に復帰しました。

仕事内容を必死に思い出したり聞いたりしながら

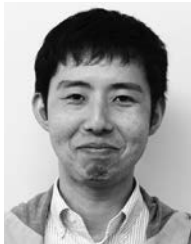
行っています。応援団の一人として、皆さんが元気になれるよう頑張ります。宜しくお願いします。



佐々木 大介

この度、レインボーに帰ってきました佐々木大介です。戻って2ヶ月経ちましたが、当事者の方々や関係

機関の方々が名前を憶えていてくれたことに対して本当に感謝感激しております。これからも宜しくお願い致します。



阿部 一徳

3年ぶりに戻って参りました。レインボーネット二人目の「阿部」です。ぜひ下の名前も覚えていた

だければと思います。お久しぶりの方も、はじめましての方も、気軽に声を掛けて頂ければ嬉しいです。

「福祉の現場から」

Report1

「宮古圏域における就労系障害福祉サービス 利用に係るアセスメントの取り組み」



社会福祉法人 若竹会 多機能事業所すきつぷ

サービス管理責任者 鷺田 敦子

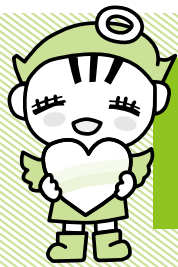
就労系障害福祉サービス利用に係るアセスメント（略：就労アセスメント）とは、平成27年4月より、特別支援学校卒業生等で就労継続支援B型事業所を希望される方を対象に、就労移行支援事業所を利用契約して頂き（宮古圏域は原則15日間）、一般就労が可能かをアセスメントし、その結果を受けて就労継続支援B型事業所を利用することを国が定めたものです（一部例外あり）。宮古圏域では、平成25年度から就労アセスメントシステムの構築に取り組み、昨年度は10名の方が当事業所を利用しました（平成25年度以前に就労継続支援B型事業所を利用されている方は対象となりません）。

就労アセスメントでは、当事業所に通所し、事業所内や企業での訓練



に取り組んで頂き、日常・社会生活、就労に関することについてアセスメントを行います。宮古圏域には就労移行支援事業所が1ヶ所しかない状況のため、地理的な事情等で通所が難しい方は、施設外支援という形で、当事業所の職員が福祉サービス事業所や特別支援学校に出向くことも可能です。

就労アセスメントは、就労継続支援B型事業所の利用の是非の判断するものではなく、ご利用者の現状及び将来の可能性等を配慮し、進路の選定に役立てることが目的です。人は環境との相互作用で成長し変化していくということを踏まえ、ご利用者の可能性を継続的に見守っていくことが必要です。就労アセスメントと聞いて戸惑う方も多いと思いますが、ご利用者、ご家族、関係機関の皆さんのご協力を頂き、スムーズな受け入れができるよう、取り組んでいきたいと思っています。



Report!

Report2

「医療的ケア児の現状と課題」



センターうえる・花夢

サービス管理責任者 中居 均

「おはようございます」と朝から始まる大人の空間。

「おかえりー」と午後は子ども達との賑やかな空間。

生活介護事業所・日中一時支援事業所センター・うえる花夢の日常です。生活介護10名、日中一時支援22名（うち、大人1名、児童生徒16名、医療的ケア児5名）の小さな事業所です。医療的ケア児においては現在、放課後利用できる場を御家族が選択する事を出来ないのが現状です。また、ショートステイを望めば盛岡、大槌と遠方まで走らなくてはなりません。沿岸地区において人口の最も多い宮古市になぜ医療的ケア児の受け皿が少ないのか不思議であり、医療的ケア児を持つ御家族の最も多い要望の一つでもあります。

大変でない子育てはありません。

誰が一番大変か順位もつけられません。しかし、望まずにハンデを持つて産まれ、生きるために医療を必要としている子、そしてそのわが子を守り一緒に生きていくために日々お世話をし見守っている御家族の心身のなサポートがもっと充実されても良いのではないかと考えます。

子は成長し、親は老いていく。誰かの手を借りなければならぬ、しかし近くにその場がない。将来を考えた時の不安は御家族にとって大変大きなストレスであると思います。

医療を必要とする子の居場所、御家族が安心して預けられる場の整備が必要なのではないかと日々感じています。みんな可愛い子どもたちです。話せなくとも表情で気持ちは伝

わります。自宅以外でも楽しく笑って過ごすことの出来る場所が一つでも多く出来る事、御家族のサポートが充実している、そんな宮古市になることを切に願ってやみません。



支援センターみやこです！

に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST（社会生活技能訓練）・との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

「地活みやこ」の活動あれこれ！

安心して地域生活を送るため、専門的な情報や
心安らぐ癒しの時間を提供しています

【みよこのお習合】

日 常生活に役立つ専門的で幅広い情報に触れ、安心して地域生活を送るための学びの機会です。昨年度に引き続き全4回で開催し多岐にわたる情報をお届けします。

◆第1回（5月21日）

「くらしのマナー講座」

ファイナンシャルプランナー 宮本良雄氏

◆第2回（6月12日）

「気持ち伝わる話し方」

フリーアナウンサー 榎本倫子氏

◆第3回（10月31日）

「薬と体調管理」

精神科認定看護師 小成祐介氏

◆第4回（1月頃）

「食生活と健康」（仮題）

宮古市健康課 栄養士

障がい当事者はもちろんですが、関心がある方は是非お問合せください！皆さまのご参加をお待ちしています。

【ごきげんの部屋】

偶 数月に開催し、アロマを使つて癒しの空間を提供しています。

心身のリフレッシュを目的に、癒しの手法を体感しながら精神の安定を図る活動です。

参加した皆さんが活動を終えた時、「来て良かったな」と感じていただけるよう、いやししの空間を準備してスタッフ一同お待ちしております。



昨年度の活動参加者の声

★気持ちが良くスッキリ軽くなって、癒されます。ゆったりと過ごすのも、いいですね。（Yさん）

時 期	内 容
5月	ハーブティ
7月	タッピング
9月	アニマルDVD
11月	ヨガ
1月	ハンドケア
3月	ハーブティ

趣味サークルで挑戦！

お 菓子作りを中心に活動している趣味サークルですが、5月は書道を取り入れ、新元号「令和」に取り組みました。

墨の香りと程よい緊張感の中で静かに筆を運び、改めて新しい時代の幕開けを感じる時間となったようです。

1枚ごとに上達し、参加者も納得の仕上がりになりました。



※講師はレインボーネットの栗津 優 相談支援専門員

活動参加者の声

- ★難しい文字ですが、何度も書いていくうちに徐々に形ができました。（Yさん）
- ★静かな中で集中し、気持ちが引き締まりました。（Tさん）



こんにちは、「地域活動

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等）を対象にピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤

競技別

MVP受賞者の声♪

- ★いいプレイができました。
定期的に身体をならすことが大事だと思います。
（ソフトバレー：Yさん）
- ★最高です!!
（スカットボール：Sさん）
- ★とても嬉しいです!
目を離さないで打ち返すことが、勝利の秘訣です。
（卓球バレー：Nさん）

青 空と新緑のコントラストが眩しかった5月17日、令和初の標記スポーツ交流会を開催しました。
当日は宮古圏域内21事業所が参加し、スタッフを含めた総勢約260名の参加で、会場のシーアリーナは熱気に包まれました。
今年度は新たに卓球バレーを競技種目に加えたほか、お楽しみコーナーも設け、選手も応援団もスポーツ交流を楽しんでいただけだものと思っています。
皆様のご協力に感謝申し上げます。

盛況御礼 宮古圏域障がい者 スポーツ交流会

◎会長賞には「多機能事業所すきっぷ」が選ばれました!



競技結果

	優 勝	準優勝
ソフトバレーボール	宮古山口病院デイケア	自立生活支援センターウイリー
スカットボール	岩泉町デイケアコスモス会	ジョブ・パートナー山田
卓球バレー	宮古市身体障害者福祉会	宮古市身体障害者福祉センター



ハキハキと気持ちよい選手宣誓は、「すきっぷ」の齊藤広太さんです!



卓球バレー優勝「宮古市身体障害者福祉会」



スカットボール優勝「岩泉町デイケアコスモス会」



「ワカメ落とし」うちわであおいで、テープを落とせるか!?



ソフトバレー優勝「宮古山口病院デイケア」

応援にも熱が入ります! 得点の度に歓声が上がりました♪

令和元年度 事業計画・予算

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット（レインボーネット）では、障がいをお持ちの方の豊かな暮らしの実現に向けて、今年度も各種事業に取り組めます。

【重点項目】

- ◎計画相談支援等を推進するため、相談支援業務の効率化と環境整備を図るとともに、基幹相談支援センターとして相談支援事業所間のさらなる連携・強化に努めます。
- ◎障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの趣旨を踏まえ、障がい者の権利擁護の推進、普及啓発に努めます。
- ◎障がい者の地域移行希望等調査結果の活用を図るなど、入所施設や精神科病院からの地域移行の推進に努めます。
- ◎地域活動支援センター事業の充実を図るため、市町村や当事者のニーズに対応した取り組みの推進に努めます。
- ◎障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障がい者の生活を地域全体で支える体制を構築するため、地域生活支援拠点整備の推進に努めます。

Ⅰ 法人運営の関係

(1) 法人の公正中立で適正な運営に取り組みます。

・総会（1回開催）

・理事会（3回開催）

・運営委員会（2回開催）

・会計監査（4回実施）

(2) 会員等に対する情報発信に取り組みます。

・ホームページを活用した情報提供

・機関紙「Rainbow Net」の発行（第28号・第29号）

・地活だより、各種イベントチラシの配布

Ⅱ 受託事業の関係

(1) 宮古圏域4市町村から委託された宮古地区地域生活支援事業等を適切に実施します。

・基幹相談支援センター事業（相談支援事業、基幹相談支援センター等機能強化事業、住宅入居等支援事業、障害者虐待防止センター事業）

・地域活動支援センター事業（基礎的事業、機能強化事業）

(2) 宮古圏域障がい者自立支援協議会の適正な運営に取り組めます。

・圏域協議会、実務担当者会議、生活支援部会、権利擁護部会、精神保健部会、発達支援部会の定例会の開催

・講演会、セミナー等の開催（専門部会等の主催で実施）

(3) 岩手県から委託された岩手県地域生活支援広域調整会議等事業を適切に実施します。

・地域委員会の開催

・勉強会の開催

Ⅲ 自主事業の関係

(1) 高次脳機能障がい者支援事業

・連絡会、家族教室、研修会等を開催します。

(2) 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援、障害支援区分認定調査に取り組みます。

(3) 障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業

・宮古圏域障がい者スポーツ交流会の開催

・はあとふるフェスタ2019の開催

(4) 各種ネットワークの拡充と連携強化に努めます。

・障がい当事者団体等ネットワーク、障がい福祉サービス事業者連絡会との連携、宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議等を開催します。

【令和元年度・活動予算書】

収益の部

(単位:千円)

科 目	金 額
受取会費	240
受取寄附金	1
受取助成金等	0
事業収益	77,950
宮古地区地域生活支援事業等	57,500
相談支援事業	20,000
認定調査事業	300
地域生活支援広域調整会議等事業	150
その他収益	151
経常収益計 ①	78,342

費用の部

(単位:千円)

科 目	金 額
事業費	71,814
人件費	29,071
その他経費	42,743
管理費	6,528
人件費	2,913
その他経費	3,615
減価償却費	0
経常費用計 ②	78,342
当期正味財産増減額 ③=①-②	0
前期繰越正味財産額 ④	14,967
次期繰越正味財産額 ③+④	14,967

エッセイ・虹の架け橋

「そうだ福祉を楽しもう」

前社会福祉法人若竹会障がい部門統括

山崎 実



私は、今年3月に社会福祉法人若竹会を退職しました。平成から令和へ時代が引き継がれていくように、これからの世代へバトンタッチをすること、今までとは違った持ち味を発揮していくものと確信しております。

タイトルは、「そうだ葉っぱを売ろう」から考えたものです。筆者は現在、株式会社いろどり代表取締役の横石知二氏です。人口1500人の徳島県上勝町で、高齢者の「葉っぱビジネス」を成功させ、高齢者が生き生きと働くことで、結果、医療費も低減し国内外から注目を浴び、たくさん見学者が訪れているというものです。

横石氏は、以前レインボーネット主催のチャレンジフォーラムにおいて、講師としてお招きした方だと記憶しています。成功のポイントは、高齢者一人ひとりのやる気を引き出したプロデュース力があり、結果、頼まれた作業ではなく自分の仕事として楽しく取り組んでいるということであると思います。横石氏は、細かな指示を出すのではなく「自分で考える」ことを大事にしながら、高齢者と一トを活用したコミュニケーションを取っています。

今、福祉分野でも、人材に関わる様々な問題が生じています。私は一番大切なのは、「仕事が楽しいこと」であろうと思っています。私は福祉の仕事は「何でもできること」「正解がないこと」この二つが大きな魅力であり、楽しさであると思っています。葉っぱを売ってビジネスをしようなんて当時では、考えられない発想であつたと思います。型にはまった仕事ではなく、形を創る仕事にチャレンジしたいものです。

全社協出版の月刊福祉5月号に横石さんの対談記事が掲載されています。宮古に来たのは20年以上前かもしれません。今、再び福祉の分野で登壇されたことの大切さを考えてみたいものです。

「そうだ福祉の仕事を楽しくやろう」。今一度、自分自身で、グループで、職場で振り返ってみてはどうでしょうか。



なんでも KEIJIBAN

令和元年度「地域懇談会」

宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会を開催いたします。

●日時・会場
◇田野畑村
6月7日(金) 13時～15時30分
アズビイ学習センター

◇山田町
7月8日(月) 13時40分～15時40分
山田町立山田南小学校

◇岩泉町
9月20日(金) 13時30分～15時30分
岩泉町民会館

◇宮古市
日時未定
救護施設 松山荘

高次脳機能障がい・家族教室

●日時・会場・内容
◇第1回 6月24日(月) 10時～12時
フラットピアみやこ 音楽療法「音楽を楽しもう!」

◇第2回 10月30日(水) 10時～12時
山口公民館 パステルアート「パステルアートで気持ちを表現してみよう!」

◇第3回
令和2年1月29日(水) 10時～12時
山口公民館 内容未定

第1回 宮古圏域発達障がい学習会

●日時・7月13日(土)
《第1部》10時～12時
《第2部》13時～15時
会場…休暇村陸中宮古 2階リアスホール
内容…「自閉症の人の力を信じる」

《第1部》事例検討、《第2部》講演



講師
一般社団法人
笹 Takamura 協会
顧問 一誠 氏

●対象者…関係者、当事者、家族、興味がある方

宮古圏域発達支援セミナー

●日時…8月31日(土)
《第1部》午前10時～午前11時45分
《第2部》午後1時～午後2時30分
会場…イーストピアみやこ
2階多目的ホール

●内容…「(案)発達障がいのある子どもと家族の支援」
講師…立正大学心理学部 名誉教授 中田洋一郎氏

●対象者…《第1部》福祉、教育、医療、行政機関などの関係者
《第2部》関係者、当事者、家族、興味がある方

宮古圏域スキルアップセミナー

●日時…11月1日(金) 14時～16時
会場…宮古地区合同庁舎(五月町)
●内容…「アンガーマネジメント」怒りをコントロールするとは!?」
講師…岩手県障害者職業センター 障害者職業力カウンセラー
●対象者…関係者、当事者、家族、興味がある方

宮古圏域障がい者自立支援協議会研修会 「地域生活支援セミナー」

●日時…12月1日(日) 10時～12時
会場…イーストピアみやこ
2F 多目的ホール

●内容…「ぼくのこころ病名で呼ばないで」～もういちど、こころと向き合う～



講師
慈恵病院
精神医学研究所所長
青木 省三 氏

●対象者…関係者、当事者、家族、興味がある方

宮古圏域権利擁護セミナー

●日時…12月18日(水) 13時～15時30分(予定)
●会場…イーストピアみやこ(予定)
●内容…成年後見制度の理解促進、普及啓発活動を目的に開催
権利擁護セミナー寸劇のDVD上映と成年後見制度の実践報告
●対象者…関係者及び当事者、家族、興味がある方

●問い合わせ先 レインボーネット事務局
TEL 0193・64・7878
FAX 0193・77・3921

編集後記

機関紙第28号を発行でき一安心しています。ご協力くださった関係者のみなさんありがとうございました。そして、レインボーネットの優秀なスタッフのみなさまにもこの場を借りて感謝します。いつも、どうもありがとうございます。明日からも、ささやかですが、今を、明日をどう生きるべきか共に考える相談支援をしていきたいと思っています。

【高屋敷】
皆様のご協力を頂き、宮古圏域障がい者スポーツ交流会を開催する事が出来ました。スポーツといえば、各地の小学校では運動会が行われています。子供たちの元気で一生懸命な姿を見て、私も負けずに仕事と遊びに全力投球でいこうと思います!

【阿部(一)】
元号も令和に変わり昭和生まれのワタクシ3つの時代を生きた女となりました。4つの時代になる可能性もあるか(汗)今号から紙面の色調もリニューアル致しました。さわやかな雰囲気結構気に入っています。これからもよろしくお願いします。

【大内】

発行

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)

岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号
はあとふるセンターみやこ1F
TEL 0193・64・7878
FAX 0193・77・3921
E-mail info@mjako-rainbow.com
URL http://www.mjako-rainbow.com/

◆発行責任者 会長 刈屋裕之
◆企画・編集 レインボーネット事務局

かい

いん

ぼ

しゅう

かい

いん

ねんかいひ

しゅう

いん

ねんかいひ

会員募集

会員の種類と年会費について

個人

正会員 1,000円

賛助会員 500円

団体

正会員 5,000円

賛助会員 1,000円

NPO法人

レインボーネットの活動を

応援してくださる方を

募集しています。